ひと ものがたり

「ふるさとを自慢したい」埋もれた歴史や文化を次世代に

ふるさと文化を語り継ぐ会会長　朝倉 清さん　茅野市在住（76歳）

地域の伝統文化を次世代に残そうと、茅野市の住民有志らで5年前に発足した「ふるさと文化を語り継ぐ会」。地域の埋もれた歴史や文化、ゆかりの文化人を研究し、講演会や書籍の発刊を通じて発表する活動をしています。

「全国各地の情報がテレビでお茶の間に入ってくる時代。諏訪にも自慢できるものがたくさんあります。住民が互いの市町村のいいところを知ることで地域の魅力を再発見し、『おらが諏訪』という意識が広がり、諏訪全体をPRする大きな発信力になっていく」

朝倉さんは高校卒業後、旧総理府統計局に入局。1997年、旧総務庁統計センター統計研修所（東京都新宿区）の所長に就任し、統計局職員の他、中央省庁や都道府県の統計担当職員を対象にした研修を統括しました。定年退職後、2005年に実家がある茅野市北山にUターン。「山紫水明のふるさとに戻り、諏訪の良さを広く情報発信したいと強く思うようになった」。諏訪をアピールしたいとう思いから、06～08年に国土交通省が募集した自動車の「ご当地ナンバー」導入を地元商工団体や行政に提案、「諏訪」ナンバー創設に携わりました。

この他、東京で参加していた異業種交流の会を諏訪でも始めたいーと呼び掛け、諏訪地方の活性化を目指す有志でつくる「信州・諏訪ビジョン21」を発足。エルシーブイFM局の番組「キィーベーの日曜散歩道」で司会を務め、諏訪の歴史や文化、出来事をいろいろな角度から紹介しています。